

トンボ池の再生に向けて

トンボ池の湿地環境改善について

トンボ天国は岐阜県笠松町の
新境川の流れが変わり、かつて
の川が池として高水敷に残され
た池群の総称です。過去には
多くのトンボや沈水植物の
生息・生育が確認
されていました。



ベニイトトンボ

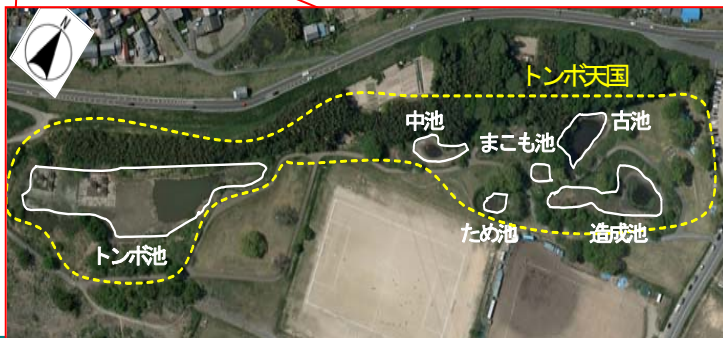
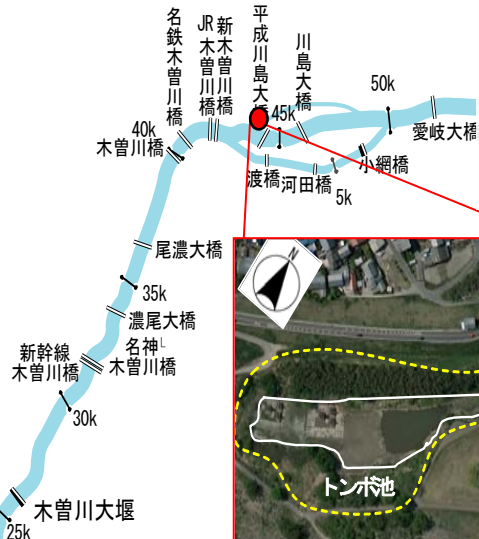


オニバス



かつてトンボ池にはオニバス、ベニイトトンボ等、絶滅が危惧される貴重な動植物が確認される豊かな自然がありました。

近年では、トンボ池の干上がり、
外来種の進入、水質の悪化による
トンボ等の生息・生育環境悪化が懸念
されました。こうした環境を改善
するため平成21年に市民、行政、専
門家が集まって「トンボ池等湿地環
境再生検討会」を設立しました。



トンボ池等湿地環境再生の目標設定

いろいろな種類のトンボがたくさん飛び交い
多くのトンボが生息する水辺環境を目指す

課題と対策



今後の方向

改善された環境をいかに維持するのが鍵になります。
環境の維持、モニタリング、環境学習、環境基盤の改善に関わる活動を住民団体、学校、行政を核として地域の方々、専門家(学識経験者)を含めた協働・連携を進めます。



検討会での審議

第5回トンボ池等湿地環境再生検討会では

- これまでの再生対策と平成24年度に予定している再生対策
- モニタリング結果
- 今後の地域連携に向けて

について審議します。